

叡智得留俱樂部 事業報告書

3 月 31 日

2020

2019(平成 31)年 4 月 1 日～2020(令和 2)年 3 月 31 日

第 7 期

法定保存期限：2030 年 6 月 30 日迄（法 57 条第 2 項議事録保存、附属書類）

目次

目次.....	1
はじめに.....	2
第7期事業報告.....	3
第7期活動報告.....	3
活動報告総括.....	3
茶事『杓底一残水』.....	3
文化庁伝統文化親子教室事業.....	4
第7期会計報告.....	5
特記.....	5
財務諸表（6頁参照）.....	5
貸借対照表.....	5
損益計算書.....	5
財産目録（含む消耗備品）.....	7
第7期 監査報告書.....	8
第8期事業計画.....	9
第8期役員.....	9
第8期組織図.....	10
第8期活動計画（詳細「F_第8期叡智得留倶楽部活動計画及び結果報告」参照）.....	11
第8期会計予算.....	12
叡智得留倶楽部 会員及び役員記録（敬称略）.....	13
設立会員（7名） 2014(平成26)年5月31日設立時.....	13
歴代役員（ありがとうございました。）.....	13

はじめに

叡智得留倶楽部は「持続可能な、文化的かつ平和な世界を目指して！」を使命として、2014（平成26）年6月30日 叡智得留倶楽部 定款を作成し、2014（平成26）年6月28日（土）第1期 叡智得留倶楽部 設立時総会に於いて、設立時社員7名によって、承認可決されました¹。

第1期、2011（平成23）年3月11日～2014（平成26）年3月の3年間の活動は設立代表者湯澤秀昭の個人活動でしたが、設立趣意書²に賛同した設立時社員7名によって追認されました。

第2期は前記設立時総会に於いて、承認された事業計画に基づいた団体活動であった点で、叡智得留倶楽部に於いて大変意義深い期となったと思われます。

第3期は茶事「杓底一残水」の活動を更に広げました。文化庁の伝統文化親子教室事業³の趣旨に賛同し、同事業の2年目にあたる平成27年度事業に『親子茶道教室 茶事「杓底一残水」』で「**平等な機会の提供をする！**」為、平成26年度で実績のなかった10区の内、江戸川区で応募し、採択されました。しかし、実施するにあたり、公的施設の確保ができず、世田谷区の代表理事宅で実施しました。

第4期は平成28年度文化庁伝統文化親子教室事業に「**平等な機会の提供をする！**」べく、第3期調査で前向きに回答いただいた渋谷区のお力添えを頂き公的会場が確保でき、実施しました。

第5期は平成29年度でお力添えを頂いた渋谷区でのお力添えが頂けず、伝統文化親子教室事業事務局へ問い合わせしたところ、開催できる場所であれば、公的施設でなくても可能との回答を頂き、平成28年度同様、世田谷区の代表理事宅で実施しました。平成27年度参加者全員にも参加いただき大変喜んでいただきました。継続性の重要性が確認できました。

第6期はサポート企業のJR大崎駅徒歩5分のマンション建築に伴い、建物内に茶室『叡智庵』が建築され、同社との覚書締結により、安定的な活用をすることが出来る環境が整いました。叡智得留倶楽部の代表理事もそちらに移転することになり、事務局も移転しました。

今期、第7期は伝統文化親子教室事業で初めて放課後子供教室との連携事業を品川区、すまいるスクール荏原平塚で5回の教室最終回に37名の参加者の内、29名で保護者他35名を客に迎え、叡智得留倶楽部として初めての茶会、第1回茶会『杓底一残水』を実施しました。

今後とも、**叡智得留倶楽部の使命 「持続可能な、文化的かつ平和な世界を目指して！」**、より多くの賛同者と共に**できる方が、できる事・やりたい事を、できる時に、できる範囲で**、コツコツと活動することにより自身が幸せを感じ、その結果、より多くの方がより多くの幸せを感じられる世界になることを願ってやみません。

[▲目次へ戻る](#)

¹ <http://www.freeml.com/hl-club/file/232208> [アクセス 2020年3月31日]

² http://www.ovcg.co.jp/hlclub/hlc_summary.html [アクセス 2020年3月31日]

³ <http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/oyako/> [アクセス 2020年3月31日]

第7期事業報告

第7期活動報告

活動報告総括

第7期事業年度は2019（平成31）年4月1日～2020（令和2）年3月31日です。

Freeml から LINE への移行に伴い、期末会員数は8名となりました。（別途、LINE グループ、叡智得留倶楽部の後ろに表示される、スマホでは「(8)」、PC では「👤8」をクリックするとメンバーが表示されます。）

活動の詳細は別紙「F_DB 事業_活動_20200331.xlsx」のシート「F_第7期叡智得留倶楽部活動計画及び結果報告」の通りです。

茶事『杓底一残水』⁴

今年度に初めて「茶会」、第1回茶会『杓底一残水』（令和1年7月20日（土））⁵を文化庁伝統文化親子教室事業の放課後子供教室との連携事業最終回で実施しました。29名の子供が保護者他35名を客に迎え茶の湯、煎茶道の融合の茶会でおもてなしました。

第14回茶事『杓底一残水』（令和1年08月03日（土））⁶は一昨年に準備出来初めて使用する『叡智庵』で2年ぶりに行いました。今回は叡智得留倶楽部会員へのお披露目の意味もあり、幸運にも香港在住のマンド真由紀アジア支部長の来日に合わせ、秋山やす子監事に親子茶道教室「茶事『杓底一残水』」の問い合わせを頂いた方の全員茶道では開催者の大先輩を迎え行いました。「夢芝居」の台詞の通り「稽古不足を暮は待たない」のであり、手前は無様なものになり、大反省でした。

第15回茶事『杓底一残水』（令和1年11月03日（日））⁷は文化庁平成31年度伝統文化親子教室事業 親子茶道教室 茶事『杓底一残水』として実施しました。今年度は年長のお子さんの強い要望により、参加枠を文化庁と相談の上、幼稚園・保育園児からに広げて実施しました。煎茶道席主はその年長女兒が努め、茶の湯席主は小1女子1名、小2女子2名、中3女子1名計4名で各家族1名を客に迎え行いました。今年も小1女子は遠く JR 山手線二駅の恵比寿駅から弟と一緒に参加してくれました。小2女子も妹と参加してもらい、その妹が体調不良の時はおばあ様がお連れになるなど、募集案内⁸で「配慮を要する方は遠慮なく事前にご相談ください。どの様に実現させるか共に考えましょう！」と、当初参加するお子さんに配慮しましたが、当事者だけでなく参加する家族構成も考慮⁹する必要性があることを今更ながらに確認しました。

⁴ 茶事『杓底一残水』実績 http://www.oycg.co.jp/hlclub/chaji_shakuteiichizansui.html

⁵ 第1回茶会『杓底一残水』（令和1年7月20日（土））会記

<http://www.oycg.co.jp/src/10602262/%E7%AC%AC1%E5%9B%9E%E3%80%80%E8%8C%B6%E4%BC%9A%E3%80%8E%E6%9D%93%E5%BA%95%E4%B8%80%E6%AE%8B%E6%B0%B4%E3%80%8F%E3%80%80H31%E8%A6%AA%E5%AD%90%E8%8C%B6%E9%81%93%E6%95%99%E5%AE%A4%E3%80%80%E8%87%AA%E4%BC%9A%E8%A8%98%E6%B0%8F%E5%90%8D%E7%84%A1%E3%81%9720190720.pdf?v=1569231589515>

⁶ 第14回茶会『杓底一残水』（令和1年08月03日（土））会記

<http://www.oycg.co.jp/src/9583239/%E7%AC%AC14%E5%9B%9E%E8%8C%B6%E4%BA%8B%E3%80%8C%E6%9D%93%E5%BA%95%E4%B8%80%E6%AE%8B%E6%B0%B4%E3%80%8D%E8%87%AA%E4%BC%9A%E8%A8%9820190803.pdf?v=1570065581182>

⁷ 第15回茶会『杓底一残水』（令和1年11月03日（日））会記

<http://www.oycg.co.jp/src/10096268/%E7%AC%AC15%E5%9B%9E%E3%80%80%E8%8C%B6%E4%BA%8B%E3%80%8E%E6%9D%93%E5%BA%95%E4%B8%80%E6%AE%8B%E6%B0%B4%E3%80%8F%E3%80%80H31%E8%A6%AA%E5%AD%90%E8%8C%B6%E9%81%93%E6%95%99%E5%AE%A4%E3%80%80%E8%87%AA%E4%BC%9A%E8%A8%98%E6%B0%8F%E5%90%8D%E7%84%A1%E3%81%9720191103.pdf?v=1570065581182>

⁸ 募集案内 http://www.oycg.co.jp/hlclub/oyako_chado/2019.html#20190513

⁹ 会記7頁、最終稽古風景参照

文化庁伝統文化親子教室事業

平成27年度から平成31年度と5年連続採択され、今年度平成31年度は前年に続き品川区大崎の『叡智庵』で前記「茶事『杓底一残水』」の項で報告した通り実施しました。特に今年度は放課後子供教室、品川区「すまいるスクール荏原平塚」との連携事業も採択され、参加者37名も行いました。放課後子供教室¹⁰は学校の授業終了後、子供さんが過ごす時間を活用し、第1回で抹茶を点て、第2回で煎茶を煎れ、第3回第4回で茶の湯班、煎茶班に分かれ稽古をし、第5回では茶会で家族をもてなしました。しかし、学校行事と重なり最終回はリーダー役の5年6年生が参加できず、急遽班の再編成をしましたが子供たちは新たなリーダーを中心に協力し臨機応変に対応し無事もてなすことができ感動いたしました。

又、すまいるスクールとの打合せと、実際に始まってからの学校の対応に差異が生じ、借りられる予定の道具が借りられない、終了後の掃除が40畳の畳の拭き掃除等、90分の教室以外の為に13:00から19:00迄の作業になり、次回からの改善点としました。

2020(令和2)年1月15日13:45～17:00、文化庁の職員2名による現地調査¹¹を受け、過去5年間の申請書・実績報告書等関連資料を確認頂きました。調査後、関連書類に関し、適切に作製保存されているとの評価を頂きました。

[▲目次へ戻る](#)

<http://www.oycg.co.jp/src/10096268/%E7%AC%AC15%E5%9B%9E%E3%80%80%E8%8C%B6%E4%BA%8B%E3%80%8E%E6%9D%93%E5%BA%95%E4%B8%80%E6%AE%8B%E6%B0%B4%E3%80%8F%E3%80%80H31%E8%A6%AA%E5%AD%90%E8%8C%B6%E9%81%93%E6%95%99%E5%AE%A4%E3%80%80%E8%87%AA%E4%BC%9A%E8%A8%98%E6%B0%8F%E5%90%8D%E7%84%A1%E3%81%9720191103.pdf?v=1570065581182>

¹⁰ 放課後子供教室 <https://manabi-mirai.mext.go.jp/>

¹¹ 文化庁『平成31年度伝統文化親子教室事業実務手引書』（5頁）

（13）文化庁による実地調査について

http://oyakokyoshitsu.jp/jigyo/files/h31_jitsumutebiki.pdf [アクセス 2020年3月31日]

第7期会計報告

特記

1. 前期に続き、預金口座名を叡智得留倶楽部とせず、個人名としています。その理由は以下によります。
 - ① 団体名を使用するとネットバンキングの費用が発生する。
 - ② 個人名口座を使用することにより、振り込み手数料が無料で利用できる。
2. 残高証明書は通帳コピーと原本の付け合せとします。その理由は¥770-の残高証明書発行手数料¹²を発生させない為です。
3. 文化庁事業は公費を使用するので、公費支出要件を満たす領収書を受領しています。

財務諸表（6頁参照）

今期は文化庁の委託費（支援金）が期内に入金にならなかった事、新たに始めた茶道教室で事前販売のチケット制にした事、これ等の事業で開催者経費精算を支払っていない事等から【未収金】、【未払金】等が多く発生した為、書式を改めました。

貸借対照表

今期は前記の通り、資産の部で【未収金】、【未収益金】、【仮払金】が、負債の部で【未払金】、【預り金】を計上しました。

損益計算書

1. 【活動余剰金】について
文化庁伝統文化親子茶道教室の収支は▲42,279-と事業自体の損失が出ました。又、新たに始めた茶道教室も参加人数が少なく採算割れになりました。放課後子供教室の連携先で借りられなくなった道具を急遽追加調達し予算不足になりました。しかし、サポート企業から特別値引き等を頂き、活動余剰金は¥156-となりました。
2. 【支援余剰金】について
第14回茶事『杓底一残水』の参加費の20%をお福分けとしての支援寄付を頂きました。

¹² 手数料 <http://www.bk.mufg.jp/tesuuryou/sonota.html> [アクセス日：2020年3月31日]

財産目録（含む消耗備品）
（別紙「F 7期_叡智得留倶楽部消耗備品棚卸表」の通り）

例年、文化庁伝統文化親子教室事業では

■ 支援金により取得した『物品の管理』について¹³

- ・所有権は支援事業者に帰属しますが、支援金で購入したものであることを十分に踏まえ、支援事業者において適切な管理を行ってください。
- ・物品の売却や、まだ使用できる物品の廃棄・紛失・譲渡や、個人の所有物とする行為は認められません。

と規定しています。

今期、購入を含め¥1,706,119-（叡智得留倶楽部購入分を含む、購入金額評価（含消費税）が「F7期_叡智得留倶楽部消耗備品棚卸表.pdf」の通り消耗備品となりました。

活動開始以来、以下の不具合がありました。それぞれ原因の特定をし、これを活かすテキスト改訂、教室で見本として提示し、扱いの教材としても活用し、指導方法の是正に活かしてまいります。

第3期

期末棚卸中に赤楽¥16,146-にひび割れを発見しました（同資料最終頁参照）。教室開催中に建水にぶつける場面があり、取り扱いを注意したのですが、

- ① 指導が不十分であった。
- ② 赤楽は他の茶碗に比し強度的に弱い。

等、の原因が考えられ、今後のこの点を踏まえ指導します。

第4期

貸与品返却時、帛紗2枚に目立った汚れがあり、絹に対応した洗剤で手引きに基づき洗濯した。残念ながら、購入時の風合いが無くなり、若干固くなってしまいました。

第5期

教室開始時に、貸与しようとした茶筌柄にひび割れを発見しました。第4期末貸与品回収時プラスチックハードケースに入れたまま回収、保管したためと考えられます。消耗品ではありますが、今後は水の付け置きはしない、十分乾燥させハードケースで保管する、回収時に確認する様、指導、留意致します。

第7期

参加者の希望に基づき、自宅稽古用に茶道具の貸与をしています。貸与時に貸与ルールを明記した、受領書に親子それぞれ、ルール確認の上、貸与書に署名の上、貸与しています。今期、貸与した茶巾を返却時見当たらず、その購入金額で弁済頂きました。

今後は第4期に制定した「MF_財産管理規程」に追記しこれに基づき、管理してまいります。

[▲目次へ戻る](#)

¹³ 文化庁『平成31年度伝統文化親子教室事業実務手引書』（2頁、12頁）

http://oyakokyoshitsu.jp/jigyo/files/h31_jitsumutebiki.pdf [アクセス2020年3月31日]

監査報告書

叡智得留倶楽部 殿

監事:

秋山 又子



叡智得留倶楽部第7期事業報告書について下記の通り監査した結果、その内容が適正かつ経理事務が正確であることを下記証明します。

尚、更なる質の向上をめざし、「今後の是正点」にコメントします。

記

1. 監査期間
2019(平成31)年4月1日～2020(令和2)年3月31日
2. 監査日
2020(令和2)年 4月 25日
3. 監査対象
活動報告書について、その関係文書
会計報告書について、諸帳簿、収支決算書、預金通帳および関係書類
4. 今後の是正点 (無) ・ 有)

第8期事業計画

第8期役員

今期は理事改選年になります。

以下、理事候補者リスト（あいうえお順）を基に総会で信任投票の結果、全員が信任されました。

理事候補者リスト：（あいうえお順）

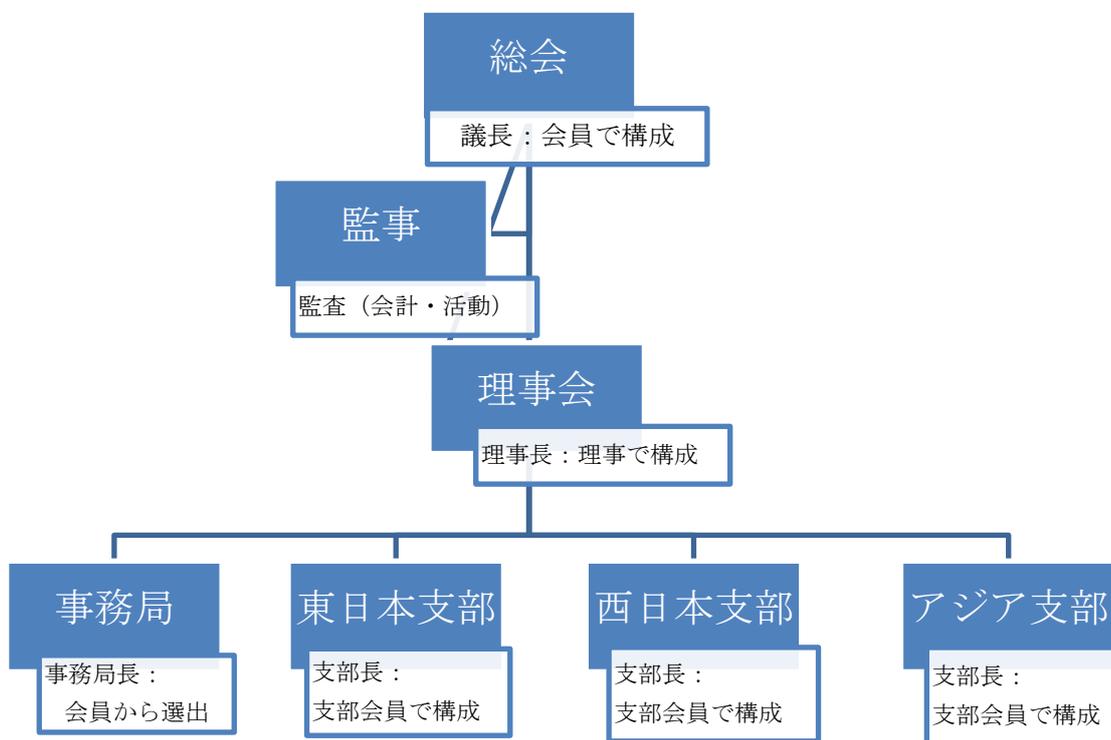
	氏名	しめい	役員暦（担当）
理事（3・10名、2年任期、改選）			
1	林 宏子	はやし ひろこ	2任期（理事、東日本・システム担当）
2	船山 一樹	ふなやま かずしげ	3任期（副理事長、会計担当）
3	マンド真由紀	まんど まゆき	1任期（理事、アジア担当）
4	湯澤 秀昭	ゆざわ ひであき	3任期（代表理事・理事長、事務局）

続いて、第8期第1回理事会が開催され以下の通り、第8期役員が選出され、再開された総会で承認されました。

代表理事・理事長（事務局）：湯澤 秀昭
副理事長（会計担当・西日本支部長）：船山 一樹
理事（東日本支部長）：林 宏子
理事（アジア支部長）：マンド 真由紀
監事（会計・活動）：秋山 やす子

[▲目次へ戻る](#)

第8期組織図



[▲目次へ戻る](#)

第8期活動計画（詳細「F_第8期叡智得留倶楽部活動計画及び結果報告」参照）

1. 茶事「杓底一残水」をとおし、和の総合伝統文化といわれる茶道を通し、「和の伝統文化」の啓発を行う。

ここで、和¹⁴とは

- ① 対立や疎外がなく、集団がまとまっている状態。仲よく、協力しあう気持ち。「一を保つ」
- ② 争いをやめること。仲直り。「一を結ぶ」
- ③ うまく調和のとれていること。つり合いのとれていること。

を意味します。

催し開催に当たっては、

平成28年4月施行、「障害者差別解消法」¹⁵及び子どもの家庭環境に留意し募集・実施する。

2. 伝統文化親子教室事業¹⁶（「文部科学省の「放課後子供教室」と連携した取組」を含む）等、公的活動の推進、親子茶道教室の継続的实施、参加者フォロー、及びその内容の活用をする。
3. 定款に基づく、諸規程の作成及び是正。
4. 叡智得留倶楽部の組織強化
5. 活動の拡大

持続可能な開発目標（SDGs）¹⁷に準拠して進める。

親子茶道教室「茶事『杓底一残水』」の大人（大学生以上）版「茶道教室 茶事『杓底一残水』」を行う。風炉の夏季教室（5月～9月）、炉の冬季教室（11月～3月）を実施する。

[▲目次へ戻る](#)

¹⁴ コトバンク／大辞林 「和」

<https://kotobank.jp/word/%E5%92%8C-448360#E5.A4.A7.E8.BE.9E.E6.9E.97.20.E7.AC.AC.E4.B8.89.E7.89.88> [アクセス日：2020年4月12日]

¹⁵ 内閣府 障害を理由とする差別の解消の推進

<https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html> [アクセス日：2020年4月12日]

¹⁶ 文化庁、伝統文化親子教室事業について

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/oyako/> [アクセス日：2020年4月12日]

¹⁷ 国際連合広報センター

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/ [アクセス日：2020年4月12日]

叡智得留倶楽部 会員及び役員記録（敬称略）

設立会員（7名） 2014(平成26)年5月31日設立時

設立代表者	湯澤 秀昭	東京都世田谷区
設立会員	秋山やす子	神奈川県川崎市
設立会員	平子 玲子	東京都板橋区
設立会員	船山 一樹	京都府城陽市
設立会員	中島 邦枝	北海道札幌市
設立会員	林 宏子	東京都清瀬市
設立会員	中村富士子	愛知県常滑市

歴代役員（ありがとうございました。）

第2-3期	副理事長（東日本担当）	中島 邦枝	北海道札幌市
第4-7期	理事（西日本担当）	本郷里生子	京都府八幡市

以上

[▲目次へ戻る](#)